

『お正月おめでとう展』展示魚種

別紙

	魚種	特徴	展示個体数
お正月に縁起のいい魚	シロザケ 	・学名: <i>Pseudanthias pleurotaenia</i> スズキ目ハタ科 体長8~10cm ・分布:伊豆諸島、駿河湾以南の太平洋岸、琉球列島。~台湾、西太平洋、ミクロネシア、サモア ・捨てるところがないと言われるほどほぼすべての部位を食べることができ、栄養豊富なところも古くから重宝されてきました。また産卵のために川をのぼる姿は生命力の象徴とされており、縁起が良いとされています。	40
お正月に縁起のいい魚	イナダ 	・学名: <i>Seriola quinqueradiata</i> スズキ目アジ科 40cm ・分布:東シナ海、カムチャツカ半島、ハワイまでの北西太平洋。主な生息域は日本海と北海道-九州 ・日本では重要な食用魚であり、各地の文化や産業に深く関わります。また大きさによって呼び名が変わる出世魚もあります。日本各地で様々な呼び方があります。ブリは寒ブリとして冬場が旬であり、成長に伴って呼び名が変わることから成長や出世を願う縁起物として重宝されています。	6
お正月に縁起のいい魚	シマフグ 	・学名: <i>Takifugu xanthopterus</i> フグ目フグ科 約20cm ・分布:相模湾より南。東北地方で見られることもある。 ・背中に縞模様が入り、ヒレが黄色いことが特徴です。ほかのフグ科の魚同様テトロドトキシン(フグ毒)が含まれます。卵巣、肝臓は特に毒性が強いですが、筋肉、皮膚、精巣に毒はありません。毒のある魚を食べることは勇気を表し、名前も「福」に似ていることから縁起がいいとされています。	3
お正月に縁起のいい魚	アカマツカサ 	・学名: <i>Myripristis berndti</i> キンメダイ目 イットウダイ科 約15cm ・分布:中・西部太平洋等 ・暖かい海のサンゴ礁などに生息します。ですがサンゴの間を泳ぎ回るような魚ではなく、サンゴや大きな岩が洞窟のようになっている暗い場所に集団を作ります。夜になると暗い海へエサを探しに出かけていきます。タイはその赤い色と「めでたい」に通じることから、祝福の象徴とされています。	3
お正月に縁起のいい魚	イセエビ 	・学名: <i>Lysmata debelius</i> 十脚目モエビ科 大きさ:3~5cm ・分布:インド洋、中・西部太平洋等 ・他の生物の体表を掃除する「クリーナー」。ホワイトソックスとも呼ばれます。赤い体色に、真っ白なヒゲと足をもち、体色がめでたい紅白のため選定。また、白く長い触角が七福神の「寿老人」のヒゲを連想させるため。	1

	魚種	特徴	展示個体数
東北のお正月を 代表する魚	ナメタガレイ 	<ul style="list-style-type: none"> 学名: <i>Pseudopleuronectes yokohamae</i> カレイ目 カレイ科 体長約20cm 分布: 北海道南部から大分県、東シナ海北部、渤海。 東北地方では古くからお正月に食べられる縁起のいい魚としてお馴染み。カレイは漢字で「家例」といわれるこ ともあり、受け継がれた伝統を守るといった言い伝えや、冬のカレイは黄金色の卵(子ども)を多く持っている ため子孫繁栄を願うとされています。 	5
干支にちなんだ 魚	ウマヅラハギ 	<ul style="list-style-type: none"> 学名: <i>Thamnaconus modestus</i> フグ目カワハギ科 約20cm 分布: 北海道より南の日本近海から東シナ海、南シナ海にかけて 体型はカワハギに比べるとやや細長くなり、また後頭部に一本の大きなトゲがあります。顔が長く、馬の顔を連 想させることから馬面のカワハギ、略してウマヅラハギの名前になりました。 	5
干支にちなんだ 魚	ヨウジウオ 	<ul style="list-style-type: none"> 学名: <i>Syngnathus schlegeli</i> ヨウジウオ目 ヨウジウオ科 全長約10cm 分布: 北太平洋、九州南部 泳ぎが苦手なため、主に浅瀬の海草の中に生息します。その形と色によって周囲の植物に溶け込み、天敵と獲 物の目から逃れます。尾鰭は扇子のような形をしており、アマモなどに体を巻き付けることができます。 	2

※展示魚種および個体数は変更となる場合がございますが、予めご了承ください。

8種 約65匹